

会議録

会議の名称	令和5年度 第5回東秩父村小・中学校あり方検討委員会
開催日時	令和6年2月29日（木）15:00～16:30
開催場所	東秩父村役場2階 大会議室
出席者	出席者11名（委員7名・事務局4名） 〔委員〕高橋守委員長、吉野孝副委員長、轟元気委員、高野次雄委員、川島一伸委員、田端隆二委員、高田長子委員 〔事務局〕小林教育長、志田指導員、吉田指導員、足立事務局長
会議記録	発言記録 ・ 要点記録
議事内容	<p>1. 開会 事務局</p> <p>2. 教育長あいさつ 小林教育長</p> <p>3. 委員長あいさつ 高橋委員長</p> <p>4. 協議事項</p> <p>（1）課題の把握について</p> <p>事務局各委員から事前に提出された「課題の洗い出し・解決に向けての策」についてを説明。その後、各委員の自由討議。</p> <p>①児童生徒数の推移に見られる児童生徒数の減少問題について</p> <p>委員長複式学級が生じることに対する対策が必要である。</p> <p>②児童生徒の通学について</p> <p>委員長次回会議時に東秩父村の白図などがあれば用意してほしい。</p> <p>委員長一人でも通学に困っている児童生徒がいれば、原因を把握していく必要があると感じる。学校で把握しているのか。</p> <p>委員安戸地区から通学する児童の通学距離はかなり遠く3～4km歩く。低学年ではかなり遠く感じるのではないか。通学距離の問題を解消できればと思う。</p> <p>委員安戸地区は日陰もないためかなり暑い。</p> <p>委員通学距離があることは、体力づくりの面からみればプラスの面もある。</p> <p>委員今後、学童だけではなく、保育園も移設した方がよいと思う。学校の空き教室などを使用する方法もある。保育園・小学校・中学校と包括的に考えなければならぬ。</p> <p>委員通学について、西地区はバスで東地区は徒歩である。保護者から不平不満が出ないよう東西両地区ともに平等に考えていく必要がある。</p> <p>委員長学童の場所を含め、通学路や通学距離の問題については今後も検討課題として解決策等を考えていかなければならぬ。</p> <p>③学校の施設について</p> <p>委員長学校施設が老朽化しているので、いずれは改修する必要がある。学校のあり方を踏まえたうえで村は建設に進めていくのではないか。</p> <p>委員長「小中一貫教育に関わる参考資料」について説明。「義務教育学校」、「小中一貫型小学校・中学校」の6つの形態のうち、東秩父村はどの形態の学校がよいかを押さえて考えていかなければならぬ。</p>

委員 学校統合等を進める自治体は義務教育学校を進めるところが多くなってきている。

委員長 学校施設については財政的な面も協慮しなければならないので、国の補助金等の情報を次回会議で教えてほしい。

④ 児童生徒の学力の状況について

委員長 東秩父村の学力は高い。学力をさらに高めるためには今後どのような教育に力を入れた方がよいのかが今後の課題となる。

委員 教科支援員の数は多く、県費の教員も助かっているのではないか。

委員長 高校入試や大学入試の傾向が変わってきている。今後は、子どもたちが自ら考えて問題解決を図るような学力が必要になってくるのではないか。

⑤ 児童生徒の体力について

委員長 小学校は体力テストの結果がよい。中学校は少人数なので部活動が少ないため、体力の差が出てきてしまう傾向にある。部活のあり方等を工夫していかなければならない。村のスポーツの状況や近隣のスポーツの現状をつかんだうえで対策を考えていく必要がある。

委員 中学校で部活動の朝練がなくなったと聞いた。やむを得ないが残念と感じる。

⑥ 特色ある教育活動について

委員長 東秩父村は特色として小学校低学年からの外国語活動がある。今後、少人数を生かした村ならではの特色ある教育活動を考えていく必要がある。

⑦ 今後の学校のあり方に関して

⑦-1 学校生活について

委員長 少数の児童生徒の意見も汲み取り不満等が出ないようにしていく必要がある。

⑦-2 学校の体制について

委員長 学校の体制がポイントであり、柱となる。結論を出すために情報収集・資料収集をし、委員の意見を聴取し結論を出したい。現地視察や講話等を行っていききたい。

⑦-3 村の教育施策に関して

委員長 ほかに取り入れたいものがあれば意見を出してもらいたい。

⑧ その他

なし

(2) 今後のスケジュールについて

事務局 令和6年5月から令和7年3月までのスケジュールを説明。

委員長 第6回（5月～6月）から小中学校の学校体制を検討したい。学校体制を先に考え方向付けをした後で、教育条件に関わる案件を検討していきたい。

(3) その他

なし

5. 次回開催について

→第6回会議は、令和6年5月～6月に実施する。

6. その他

事務局今後も継続して課題の洗い出しを行いたい。フォーマットを作成し、随時意見の集約ができるように各委員に通知する。

7. 閉会 吉野副委員長